



しかべちょう
北海道 鹿部町

第 10 号

2002年7月

議会だより

アウト!! セーフ!!

おめでとう!
鹿部中 優勝!

第二回定例会の概要
一般質問
臨時会の概要
委員会の活動

6P 5P 3P 2P

6/26～6/27に山村広場野球場で開催された渡島東地区中体連野球大会

発行／鹿部町議会 編集／鹿部町議会だより編集特別委員会

TEL 01372-7-2111 (内線24、76)

FAX 01372-7-3086

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜299番地

E-mail gikai@town.shikabe.hokkaido.jp

平成14年第2回定例会

平成14年第2回定例会は、6月20日に招集され、会期を2日間と決め、町長の行政報告のあと、2名の議員が2項目にわたり一般質問を行いました。

又、議案8件を審議し、全て原案どおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

尚、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

補正予算

△一般会計

歳入歳出それぞれ二億六千五百十三万千円を追加し、予算総額を二十九億九千七百万七千円とした。

内容は、漁業系廃棄物リサイクル施設整備事業の二億六千三十四万二千円の追加が主なものである。

【原案どおり可決】

同意

△固定資産評価審査委員会員の選任

任期満了により、次の二名の方を再度選任することに同意した。

氏名Ⅱ吉 英樹 氏

住所Ⅱ字鹿部四九番地の三

氏名Ⅱ小笠原 功 氏

住所Ⅱ字本別三一四番地の一

【以上二件

原案どおり可決】

その他

△字の区域変更

地籍調査の結果、鹿部川の中心が宮浜側へ移動することが確定されたことにより、民有地四筆、町有地二十筆、河川敷地一筆の合計二十五筆を「字宮浜」から「字鹿部」と区域変更した。

△平成十三年度鹿部町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

「宮浜中央団地建設事業」二億三千五百四十五万八千円、「奥地林道常呂線災害復旧事業」百七十七万五千円を平成十四年度へ繰越する旨、報告があった。

△鹿部町土地開発公社の平成十三年度決算並びに平成十四年度予算等の報告

地方自治法第二百四十三条の第三項の規定に基づき報告があった。

【以上三件

原案どおり可決】

発議

△鹿部町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

地方自治法等の一部改正に伴い、議員派遣に関する条項を追加した。

【原案どおり可決】

意見書

議員提案により、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出した。

教育諸条件を整備するための教育予算の充実と、義務教育費国庫負担法の堅持を求める要望意見書（抜粋）

一、実効性のある教育改革実現のために、予算措置をともなう総合的な教育計画を策定すること。

二、義務教育費国庫負担法を堅持すること。

三、学校教育法二十八条「ただし書き」と、同法百三条を削除すること。

四、三十人以下学級を早期に実現すること。

五、教科書の無償制度を継続すること。

六、私学助成の確保及び大幅な増額を図ること。

（提出先）内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、財務大臣

【原案どおり可決】



一般質問

第2回定例会での一般質問は、2名の議員から2件の事項について質問がありました。

質問、答弁の趣旨をまとめ、項目順に紹介します。

合併に対する町長の考えは

(質問者) 笠原 賢 議員

合併特例法の期限が三年後に迫り、新聞紙上でも、合併関係(合併の風など)の記事が特集され、町民も、合併することで、自分達の生活環境がどう変わり、メリット、デメリットはどうなのかなど、高い関心を寄せているところでありますが、町税・国保税

の課税率や各施設の整備関係、また、地方交付税削減が明確にされていないなど、種々な問題点が山積されております。町長は、先日、新聞紙上で合併問題に対し、反対の意を表しておりますが、市町村合併に対する町の方向性を伺いたい。

単独自治体での運営も可能

(答弁者) 松本 豊勝 町長

この件については、新年早々、各団体の会合の席上での挨拶の中で同じ事ではありませんが、お話をして参りました。そういう事から答弁します。鹿部町は、昭和四年の駒ヶ岳の大噴火により、壊滅的な被害を受け、廃村とも言わ

れましたが、先人の熱意と努力による復興と、その後の街づくりの成果が今日の鹿部町であります。当町は、集落もまとまり、都市圏とも近く利便性が確保出来る上、自治体としても小回りが効き、住民サービスが

容易であると思います。徹底した行財政改革を進め、経費を削減することにより、部分的な住民サービスは、縮小されますが、単独自治体の運営は可能と思っております。

これは、基本的にこういつた考え方から新聞紙上の回答とすることになりました。

新聞の中にも、その後の説明は色々あるんですけども、その部分は記載されてはおりませんでした。

しかし、当町の財政は交付税に依存する部分が多いため大幅な減額がなされた場合、受益者としての町民の負担が多くなりますので、町民が高負担を拒否した場合は国の狙いどおり、合併せざるを得ないものと考えております。

今後、役場庁内の合併研究会の方で、交付税の予想減額等、歳入全体の分析を行うとともに、歳出での事業の縮小や見直し等の総合的な予想される予算や、また、メリット、デメリットの予測を行いたいと思っております。

若干時間はかかりますが、これらがまとまった時点で、地域住民との懇談会の設定も含めて、議員皆様と協議して参りたい。

北海道市町村合併推進要綱で示されている渡島の合併パターン (単位: 人, km²)

区 分	関 係 市 町 村	人 口	面 積
渡島1	函館市・戸井町・恵山町・樺法華村・南茅部町	308,881	677.4
渡島2	函館市・上磯町・大野町・七飯町・戸井町	370,115	1,013.8
渡島3	松前町・福島町	19,400	480.3
渡島4	知内町・木古内町	13,154	418.5
渡島5	上磯町・大野町・七飯町	76,164	613.9
渡島6	七飯町・鹿部町・砂原町・森町・南茅部町	62,308	853.8
渡島7	八雲町・長万部町	25,447	1,046.4

※人口は平成11年3月31日現在の住民基本台帳によるものです。

不法投棄をどうする

(質問者)

竹ヶ原公勝 議員

五月二十日の民生文教常任委員会所管事務調査において、町内一帯の不法投棄の実態を調査したところ、見事と言っても良いほどに、ゴミの山、山と、改めて町民のモラルの無さが感じられました。調べてみると、町外者の不法投棄も多いと聞いております。

このようなゴミを、行政としてどのようにしたら良いのか。

あのままであれば、ゴミがゴミを呼び、ゴミの町鹿部町になりかねません。

他町の実態を見聞きしたところ、行政が軸になり、町内会や衛生団体等の皆さんの協力を得ながら、ゴミの片付け、その後、パトロール等、行政としての対応の仕方があると思います。ここで今一度、行政として、責任ある首長としての考えを伺いたい。



大量に不法投棄されているゴミ

土地所有者と協議したい

(答弁者)

松本 豊勝 町長

不法投棄の問題でございますが、投棄されている箇所が公有地とか、道路、河川、海岸等であれば、行政として直接処理することになりますが、私有地の不法投棄ゴミについては、土地の所有者の監督責任において、処分すべきが基本であると考えてございます。

また、近隣町の取り組み状況を聞いてみても、私有地の不法投棄ゴミについては、各自の責任において処理させているとの現状でございます。

今後、土地所有者に不法投棄の現状をお知らせし、その処理についての対応を、土地所有者と協議して参りたいと思っております。

現在、公有地及び町道、道道、国道等の路側帯については、見回りを継続実施して参りますし、又、この種の情報などについて協定している郵便局からの通報も寄せられた

時点では、処理をしている状況にあります。

河川、海岸からの撤去関係については、今後検討して参ります。

町内会や衛生団体、各種団体等の協力についても春・秋には全道一斉のクリーン作戦を実施し、更には各種団体やボランティア等との公道クリーン作戦をも実施しております。

いつも、不法投棄の問題で困っているのが、道道大沼公園鹿部線でございます。

今月、中学校の生徒とスポーツ少年団が清掃を実施していただき、きれいになったと思ったら、又、空き缶などが落ちています。

誠に困ったことであります。最終的には、住民のモラルが一番の問題でありますので、全町上げて町をきれいにする運動の方策を考えて参りたい。



ゴミを拾う園児たち

第三回臨時会

第三回臨時会は、四月十七日に開催され、次の事項について審議しました。

△平成十三年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告
地方自治法の規定により、平成十四年三月二十九日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ九百九十二万二千円を追加し、予算総額を三十九億二千七百三十三万七千円とした。

内容は、地方交付税の特別分外の歳入の追加によるものである。

△鹿部町税条例等の一部を改正する条例の制定
地方税法の一部改正に伴い、町条例も一部改正した。

△鹿部町名誉町民の推挙

昭和三十四年四月から、本年三月までの四十七年の永きにわたり、当町の学校医として児童生徒の健康医療に貢献され、また、鹿部町国民健康保険運営協議会委員として、医師の立場からの確かな助言及び提言され、更には、町の各種健診業務等に従事協力を賜り、医療の向上に努められ保健及び福祉の増進発展に多大な貢献をされた者として、澤田袈裟一氏を名誉町民とすることに同意した。

【以上三件

原案どおり可決】



名誉町民 澤田 袈裟一 氏

第四回臨時会

第四回臨時会は、五月二十日に開催され、次の事項について審議しました。

△平成十四年度鹿部町一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ六百万円を追加し、予算総額を二十七億三千八百七十七万六千円とした。

内容は、漁業系廃棄物リサイクル施設整備事業の実施設計委託料の追加である。

【原案どおり可決】

渡島・檜山管内町村議会議員研修会



北海道町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が、7月9日に函館市ホテルロイヤル柏木において開催されました。

【午前】演題『農林漁業の活性化』

(講師) N H K 解説委員 加倉井 弘 氏

【午後】演題『政局展望』

(講師) 読売新聞編集委員 橋本 五郎 氏

委員会の活動

総務経済常任委員会

所管事務調査

一、町有財産の管理 状況について

【調査実施日】

平成十四年五月十七日

【調査方法】

現地調査を中心に行い、その後、町長・担当者より説明を受け質疑を行った。

【現地調査した箇所】

- ①宮浜団地跡地
- ②町有林（宮浜学林）
- ③エルデファーム
- ④本別会館解体現場
- ⑤一般廃棄物最終処分場

計5箇所

【調査の結果】

いずれの施設及び町有地も適正に管理されているが、⑤一般廃棄物最終処分場の埋立量が重量ベースでは当初の計画を下回っているものの、容積が多いため、埋立予定期間の十年よりも早く飽和状態となることが危惧されるので、ゴミの減量化対策等、早急に対処願いたい。



宮浜学林（町有林）



埋立量が気になる最終処分場

民生文教常任委員会

所管事務調査

一、不法投棄の現況について

【調査実施日】

平成十四年五月二十日

【調査方法】

現地調査を実施し、提出のあった資料に基づき、町長・担当者より説明を受け質疑を行った。

【調査の結果】

ゴミの分別収集、家電リサイクル法の施行により、大きく変わったゴミ処理の影響で全国的に不法投棄が問題となっている。

現地調査した結果、当町においても、町内全域の八箇所不法投棄が確認されたが、実際にはそれ以上の箇所にな

法投棄されているものと思われる。

今回の調査で不法投棄が確認された箇所については、ほとんどが民有地であり、町の関与が難しく、原則所有者が処分する事になっているが、町としても、防災無線や町広報等により啓蒙運動を実施し、不法投棄の撲滅に努められたい。

また、平成十二年度から供用開始となった一般廃棄物最終処分場は、十年間で一一、四〇〇トンの埋立量を見込んでいたが、今現在の処理量は、一、七八一・八七トンとなっており、当初の予想を下回ってはいるものの、ペットボトルや空き缶の圧縮がされていないため、処分場の埋立容積が圧迫されている。

このため、処分場の延命を更に考え、平成十八年度にリサイクルプラザを整備し、ゴミの減量化を図る考えである。

なお、整備されるまでの三年間（平成十五年～十七年度）の対応については、発砲スチロールの再利用化、また、空き缶・空き瓶・ペットボトルの処理を業者委託により対処する考えである。



今回の調査で確認された不法投棄ゴミ

各委員会の閉会中の所管事務調査

各常任委員会及び議会運営委員会が九月定例会までの閉会中に、次の事項について調査します。

◆総務経済常任委員会

- 一、財政状況について
- 二、町有財産の管理について

◆民生文教常任委員会

- 一、しかべ幼稚園の三歳児保育計画について

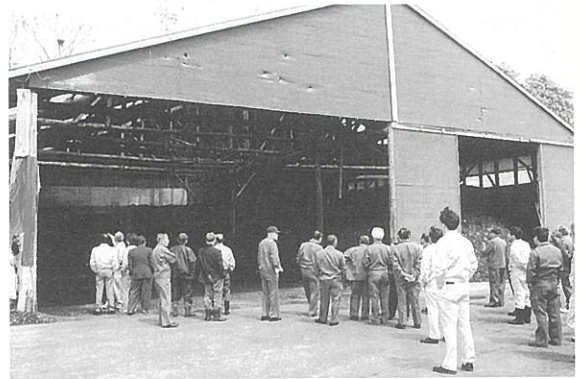
◆議会運営委員会

- 一、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項について
- 二、議長の諮問に関する事項について

議会のうごき

4 月

- 4日 本別中央会館落成式（議長外議員出席）
- 8日 小・中学校入学式（議長外議員出席）
- 9日 幼稚園入園式（議長出席）
- 〃 議会だより編集特別委員会
- 10日 漁業系廃棄物適正処理対策協議会（副議長出席）
- 12日 鹿部救難所幹部会（議長出席）
- 15日 宮浜中央団地安全祈願祭（議長外議員出席）
- 17日 議会運営委員会、第3回臨時会
- 〃 漁港整備促進協議会（議長外議員出席）
- 19日 漁業系廃棄物適正処理対策協議会（副議長出席）
- 25日 監査委員より平成14年3月分の出納検査報告書を受領
- 26日 町内会連合会定期総会（議長出席）
- 30日 渡島町村議会議長会定期総会（函館市・議長、局長出席）



5/21 漁業系廃棄物処理施設の視察

5 月

- 7日 議員全員協議会
- 13日 交通安全推進委員会総会（議長出席）
- 17日 総務経済常任委員会所管事務調査
- 20日 議会運営委員会、第4回臨時会
- 〃 民生文教常任委員会所管事務調査
- 21日 漁業系廃棄物処理施設等視察（八雲町・函館市、議長外議員出席）
- 〃 商工会通常総会（議長出席）
- 27日 戦没者慰霊祭（議長出席）、渡島東部消防事務組合第1回臨時会（関係議員出席）
- 〃 監査委員より平成14年4月分の出納検査報告書を受領
- 29日 渡島福祉会理事会（議長外関係議員出席）
- 31日 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回臨時会（議長外関係議員出席）

6 月

- 11日 第53回北海道町村議会議長会定期総会（札幌市・議長、局長出席）
- 12日 北海道議会建設常任委員会委員に対する懸案事項要望（議長出席）
- 14日 温泉観光協会定期総会（議長出席）
- 17日 議会運営委員会

編集後記

早いもので、今年ももう半年が過ぎました。これから、真夏へと突入するわけですが、当町においては、昆布採取も始まり、浜には活気があふれる時期でもあります。町民の皆様におかれましては、健康に十分留意され、お仕事に励まれますようお願いしております。

議会だよりも今回で第十号の発行となり、編集委員一同、より読みやすく、皆様に親しまれる議会だよりを心掛けて編集しているつもりでございますが、何かお気付きの点がございましたら、ご意見・ご感想、何でも結構ですので、お寄せ頂ければ、今後の編集の参考とさせていただきます。

◎議会だより編集特別委員会

委員長	笠原	賢
副委員長	浦梅	吉
委員	盛田	鉄次
委員	千葉	光義
委員	中川	一